

報道資料

平成27年10月29日
市町村振興課 尾崎・吉川
内線(2254・2261)

平成26年度 県内市町村普通会計決算の概要

平成26年度の県内市町村の財政状況をお知らせします。

※今回の概要については、国の全国的な調査である「地方財政状況調査」の結果に基づき速報値としてとりまとめたものであり、数値については、今後変動する場合があります。
なお、国の全国集計の確定値をもとに、各市町村の財政指標や全国順位を、来年1月頃に確定版として公表する予定です。

I 平成26年度県内市町村普通会計決算の全体像

4年連続で県内全市町村が黒字決算

別紙1

- 平成23年度に全団体が赤字決算から脱却。以降、平成26年度まで4年連続で全団体が黒字決算となった。
- 県内各市町村の決算規模は別紙1のとおり。

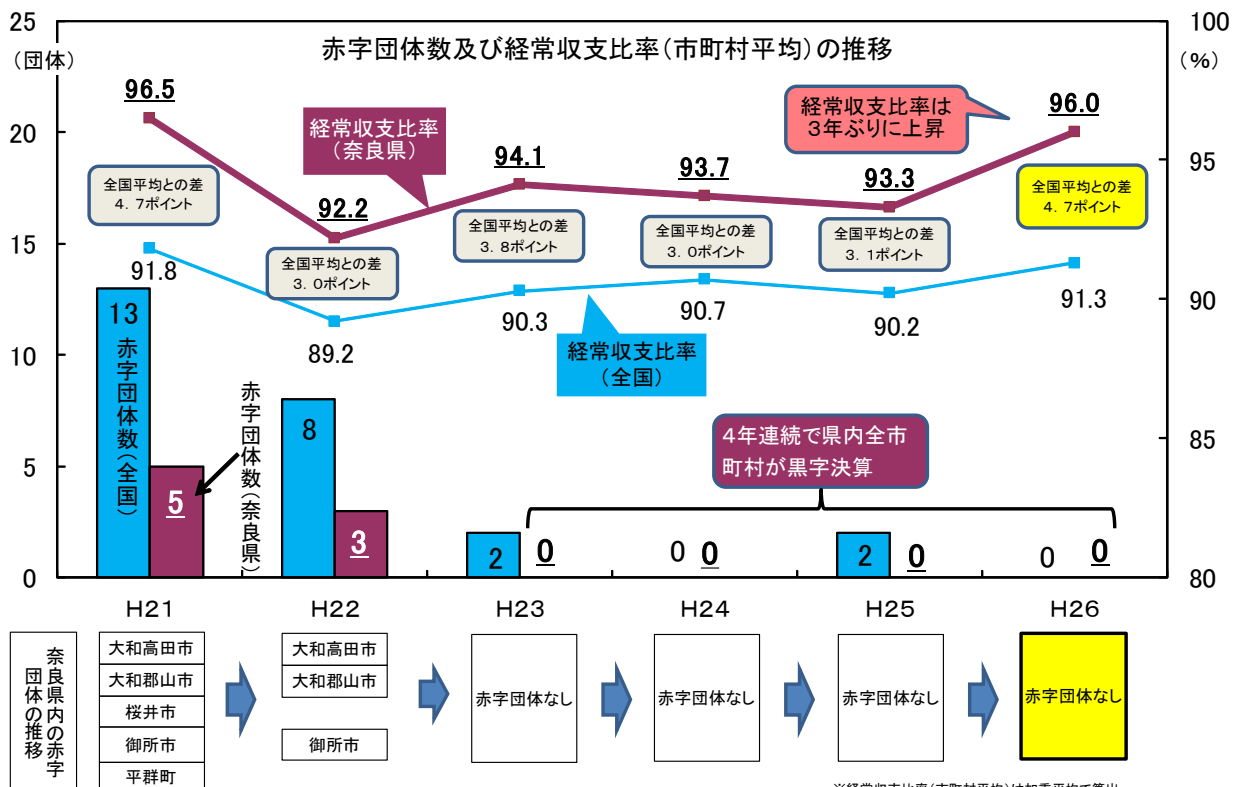
経常収支比率(市町村平均)は3年ぶりに上昇し96.0%

別紙2

- 3年ぶりに上昇し、前年度と比較すると2.7ポイント上昇。
- 全国平均も1.1ポイント上昇したが、依然として全国平均を上回っている状況。
- 県内市町村の経常収支比率(市町村平均)改善のためには、決算規模の大きい各市の経常収支比率の改善が特に重要。

※参考:平成26年度経常収支比率の段階別団体数

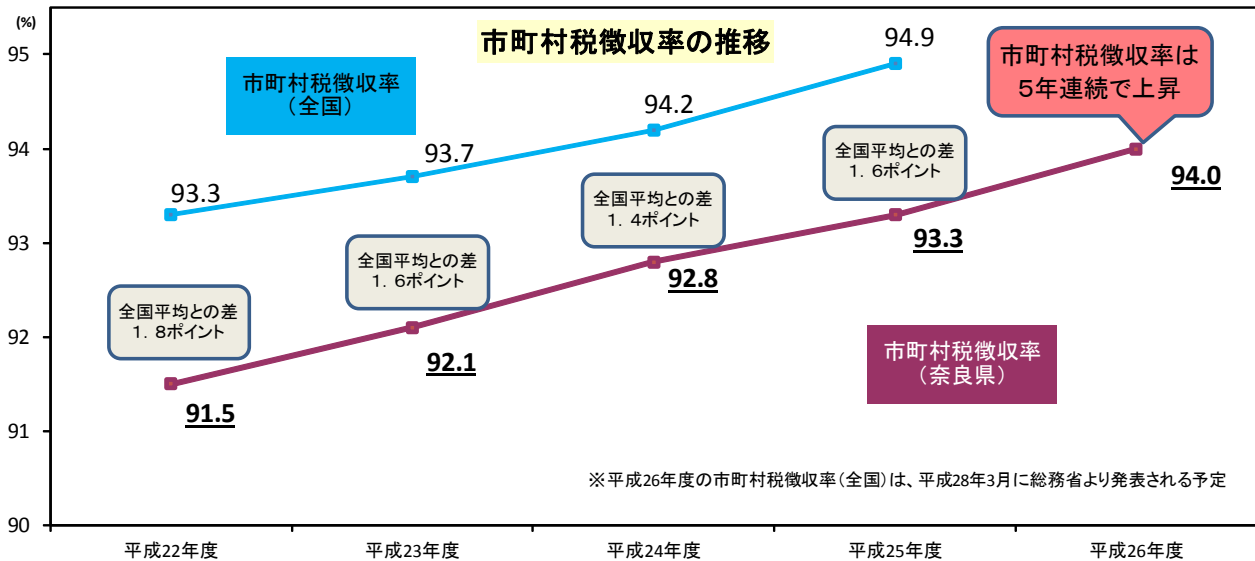
区分	80%未満	80%以上90%未満	90%以上100%未満	100%以上
全国	171 9.9%	849 49.4%	673 39.2%	25 1.5%
奈良県	0 0.0%	11 28.2%	25 64.1%	3 7.7%
うち県内市		生駒市、葛城市(2市、16.7%)	奈良市、大和郡山市、五條市、宇陀市、 橿原市、大和高田市、香芝市(7市、58.3%)	桜井市、御所市、天理市(3市、25.0%)



市町村税徴収率(市町村平均)は5年連続で上昇し94.0%

別紙3

○5年連続で上昇し、前年度と比較すると0.7ポイント上昇。



Ⅱ 平成26年度県内市町村普通会計決算(県内各市町村の状況)

(1) 経常収支比率

① 県内各市町村の経常収支比率の対前年度比較

別紙4

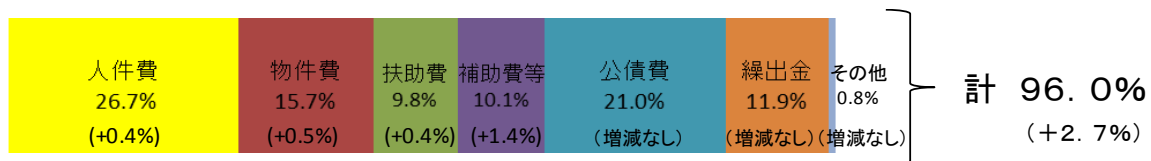
○前年度より低下した団体数は3、上昇した団体数は36。

○前年度と比較して上昇した団体が多いのは、普通交付税など経常一般財源等の減や物件費、補助費等など経常的経費充当一般財源等の増による。

② 県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳とその対前年度増減

別紙5-1~6

○平成26年度の経常収支比率(市町村平均)は96.0%であるが、性質別では下記のように算出され、人件費と公債費で計47.7%と、全体の約半分を占めている。



※括弧内は平成25年度からの増減

○県内各市町村のそれぞれの経常収支比率の性質別内訳は、別紙5-2のとおり。

○前年度と比較すると、上昇要因のうち物件費や補助費等の影響が大きい。

○県内各市町村のそれぞれの経常収支比率の性質別対前年度増減は別紙5-4のとおり。

○経常収支比率が低下した市町村では、公債費の比率が低下傾向。一方、上昇した市町村では、人件費や補助費等の比率が上昇している団体が多い。

③県内各市町村の経常収支比率の分布状況

別紙 6 - 1

- 経常収支比率100%以上の団体は、前年度より1団体増加し、桜井市、御所市、天理市の3団体。
- 一方、経常収支比率85%未満の団体は前年度より5団体減少し、下北山村、上北山村の2団体。

④県内各市町村の経常収支比率の分布状況（前年度比較）

別紙 6 - 2

- 普通交付税の減等により、特に県南部地域の市町村で大きく上昇。

⑤県内各市町村の経常収支比率の健康診断表

別紙 7

- 県内各市町村の経常収支比率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
- 「要治療」領域に属する26団体のうち、平群町のみが前年度よりも低下し、野迫川村など25団体が前年度よりも上昇。「健康」領域に属する13団体のうち、山添村と三郷町が前年度よりも低下し、上北山村など11団体が上昇。

⑥県内各市・町・村別経常収支比率順位の推移

別紙 8 - 1 ~ 3

- 市では、生駒市がここ数年順位上昇傾向にあり平成26年度では1位となった。大和郡山市は補助費等や公債費の増等により大きく順位低下。
- 町では、公債費の減等により三郷町が1位となった。上牧町は公債費の増等により、広陵町は人件費の増等により大きく順位低下。
- 村では、下北山村が公債費の減等により大きく順位上昇し、平成26年度では1位となった。野迫川村は普通交付税の減等により大きく順位低下。東吉野村は4ヶ年度連続で順位低下。

⑦各市町村別・性質別経常収支比率の類似団体平均との比較

別紙 9 - 1 ~ 8

- 各団体のH26性質別経常収支比率を、H25類似団体平均と比較。
- H26経常収支比率がH25類似団体平均を下回ったのは生駒市と葛城市の2団体のみ。

(2) 市町村税徴収率

①県内各市町村の市町村税徴収率にかかる現年課税分・滞納繰越分別徴収率別紙10の対前年マトリクス

- 県内各市町村の市町村税徴収率を、現年課税分徴収率と滞納繰越分徴収率の対前年度増減で区分し整理。
- 現年徴収率が前年度より上昇した団体は26団体で、このうち滞納徴収率が前年度より上昇した団体は大和高田市など18団体、前年度より低下した団体は奈良市など8団体。
- 現年徴収率が前年度より低下した団体は13団体で、このうち滞納徴収率が前年度より上昇した団体は橿原市など6団体、前年度より低下した団体は御所市など7団体。

②県内各市町村の市町村税徴収率の分布状況

別紙 1 1

- 徴収率分布地図で整理すると、南部地域の徴収率に良い傾向が見受けられる。

③県内各市町村の市町村税徴収率の健康診断表

別紙 1 2

- 県内各市町村の市町村税徴収率を類似団体平均を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
- 「健康」領域に属する34団体のうち、下市町など26団体が前年度よりも上昇し、高取町など6団体が前年度よりも低下。黒滝村及び上北山村の2団体は変動なし。「要治療」領域に属する5団体のうち、大和高田市など4団体が前年度よりも上昇し、野迫川村が前年度よりも低下。

④県内各市・町・村別市町村税徴収率順位の推移

別紙 13-1~3

- 市では桜井市が4年連続で1位。宇陀市が5年連続で最下位。御所市は現年課税分・滞納繰越分ともに徴収率が悪化し同率で最下位。現年課税分・滞納繰越分ともに徴収率が改善した大和高田市、香芝市は順位上昇。
- 町では三宅町が1位へ上昇。三郷町が2年連続で最下位。現年課税分・滞納繰越分ともに徴収率が改善した下市町は順位上昇。
- 村では下北山村が5年連続で1位。野迫川村が2年連続で最下位。滞納繰越分徴収率が改善した曾爾村は順位上昇。

Ⅲ 市町村財政の更なる健全化に向けた県の支援

○県は、当面の目標としている経常収支比率（市町村平均）全国ワースト10位からの脱却をできるだけ早期に達成できるよう、財政健全化に向けた市町村支援のための取組を積極的に推進。

○平成26年度は、特に公債費負担の軽減のため新たに「奈良県市町村財政健全化支援事業」を実施し、既発行の高金利地方債の繰上償還を積極的に支援。

- ・貸付金：奈良市など22市町村へ貸付
- ・補助：大和高田市など25市町村へ補助
- ・平成26年度執行額計：4,648,500千円

○また平成26年度より、各市町村の行財政健全化に向けた自主的な取り組みを後押しするため、経常収支比率の悪化など行財政運営上、解決すべき課題を抱える市町村とともに課題の分析・明確化を図り、認識を共有のうえ、改善に向けた助言・指導を重点的・集中的に実施する取組を開始。

○財政健全化に向けた取組を通じ、著しい成果をあげた市町村に対しては、優良事例としてその努力を讃え表彰（「がんばる市町村応援表彰」）。

- 【平成26年度表彰団体（財政運営部門）】
王寺町「Let'sスクラム 王寺町における徴収力強化の取り組み」

○平成27年度には、市町村公営企業が有する高金利地方債の繰上償還に対し市町村が支援する際に必要となる経費への貸付及び補助を実施。

- ・事業名：奈良県市町村公営企業財政健全化支援事業
- ・平成27年度予算額：1,200,000千円

平成26年度 県内市町村普通会計決算の概要（別紙資料一覧）

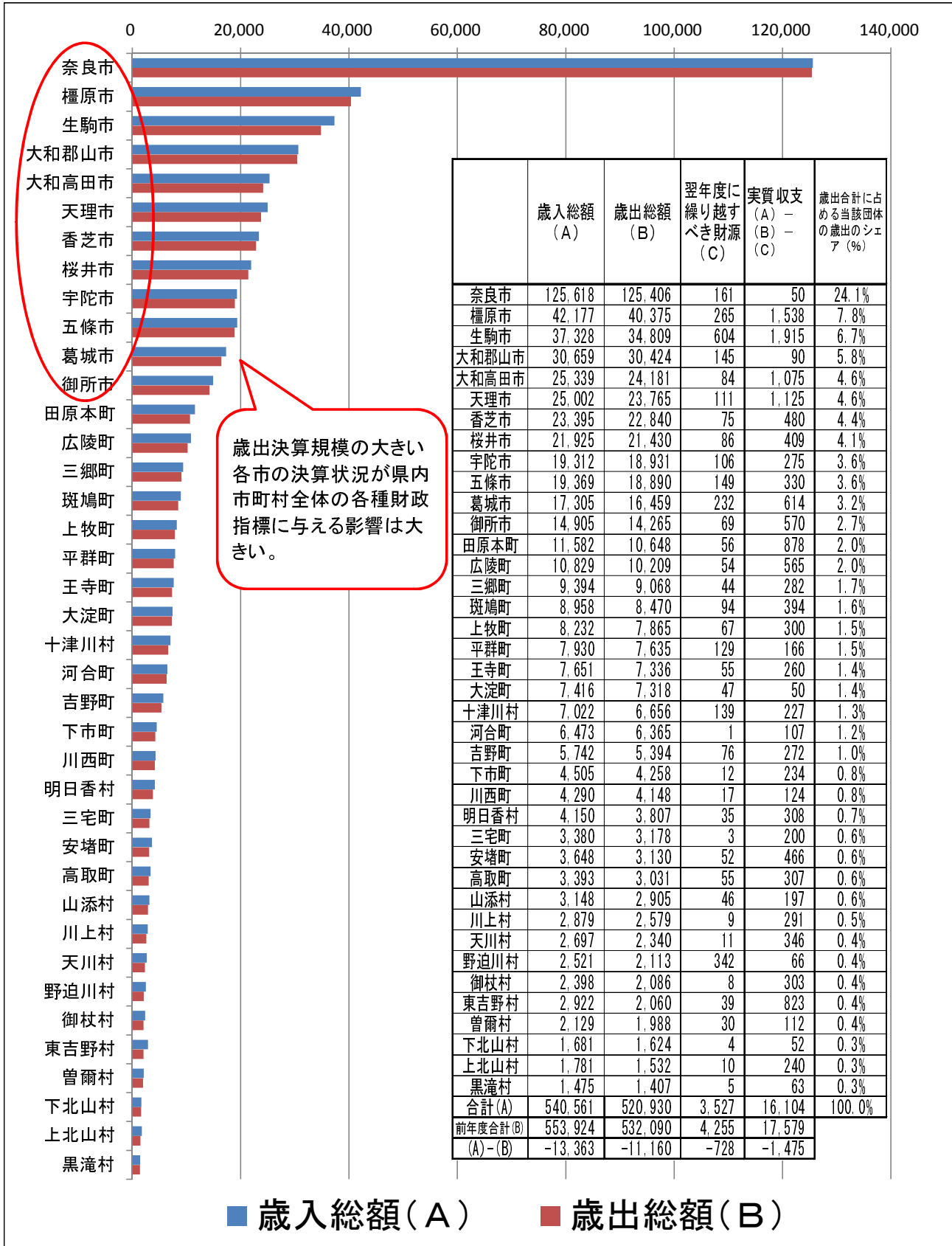
別紙 1	県内各市町村の平成26年度決算規模
別紙 2	県内各市町村の経常収支比率
別紙 3	県内各市町村の市町村税徴収率
別紙 4	県内各市町村の経常収支比率の対前年度比較
別紙 5 - 1	県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳及び対前年度増減
別紙 5 - 2	県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳
別紙 5 - 3	県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳（うち人件費、公債費の占める割合）
別紙 5 - 4	県内各市町村の経常収支比率の性質別対前年度増減
別紙 5 - 5	県内各市町村の経常収支比率のうち人件費にかかる対前年度増減ポイント
別紙 5 - 6	県内各市町村の経常収支比率のうち公債費にかかる対前年度増減ポイント
別紙 6 - 1	県内各市町村の経常収支比率の分布状況
別紙 6 - 2	県内各市町村の経常収支比率の分布状況（前年度比較）
別紙 7	県内各市町村の経常収支比率の健康診断表
別紙 8 - 1	県内12市の経常収支比率順位の推移（過去5ヶ年度分）
別紙 8 - 2	県内15町の経常収支比率順位の推移（過去5ヶ年度分）
別紙 8 - 3	県内12村の経常収支比率順位の推移（過去5ヶ年度分）
別紙 9 - 1 ~ 8	各市町村別・性質別経常収支比率の類似団体平均との比較
別紙 10	県内各市町村の市町村税徴収率にかかる現年課税分・滞納繰越分別徴収率の対前年マトリクス
別紙 11	県内各市町村の市町村税徴収率の分布状況
別紙 12	県内各市町村の市町村税徴収率の健康診断表
別紙 13 - 1	県内12市の市町村税徴収率順位の推移（過去5ヶ年度分）
別紙 13 - 2	県内15町の市町村税徴収率順位の推移（過去5ヶ年度分）
別紙 13 - 3	県内12村の市町村税徴収率順位の推移（過去5ヶ年度分）

県内各市町村の平成26年度決算規模

別紙1

- 歳入総額は5,406億円となり、前年度を134億円下回った。
- 歳出総額は5,209億円となり、前年度を112億円下回った。
- 歳出決算額が県内市町村歳出決算額合計のおよそ1/4を占める奈良市をはじめ、歳出決算規模の大きい各市の決算状況が県内市町村全体の各種財政指標に与える影響は大きい。

(単位：百万円)



県内各市町村の経常収支比率

別紙2

○経常収支比率(市町村平均)は3年ぶりに上昇し、前年度と比較すると2.7ポイント上昇。
 ○上昇の原因は、経常収支比率の分母である経常一般財源等のうちの普通交付税の減や、分子である経常的経費充当一般財源等のうちの物件費や補助費等の増など。
 ○全国平均が1.1ポイント上昇したが、依然として全国平均を上回っている状況。

(単位:%)

健康 状態	26年度				25年度		
	ワースト 順位	市町村名	経常収支 比率(A)	対前年度 改善ポイント (A-B)	ワースト 順位	市町村名	経常収支 比率(B)
要 治 療 全国平均 以上	1 ↑	桜井市	104.5	5.8	1	御所市	101.3
	2 ↓	御所市	104.2	2.9	2	天理市	100.6
	3 ↓	天理市	101.8	1.2	3	下市町	98.8
	4 ↑	広陵町	99.6	5.4	4	桜井市	98.7
	5 →	奈良市	99.0	1.5	5	奈良市	97.5
	5 ↑	河合町	99.0	2.9	6	明日香村	97.0
	7 ↓	下市町	98.9	0.1	6	吉野町	97.0
	8 ↑	大和郡山市	98.2	7.2	8	河合町	96.1
	8 ↓	吉野町	98.2	1.2	9	平群町	95.6
	10 →	斑鳩町	98.0	2.8	10	斑鳩町	95.2
	11 ↑	五條市	97.5	4.1	11	黒滝村	95.1
	12 ↓	明日香村	97.2	0.2	12	宇陀市	94.2
	12 ↑	上牧町	97.2	5.8	12	広陵町	94.2
	14 ↓	宇陀市	97.1	2.9	14	大和高田市	93.9
	15 ↓	黒滝村	96.5	1.4	15	橿原市	93.8
	16 ↓	橿原市	95.9	2.1	16	王寺町	93.6
	17 ↓	大和高田市	94.9	1.0	17	五條市	93.4
	18 ↓	平群町	94.4	▲ 1.2	18	高取町	92.7
	18 ↓	王寺町	94.4	0.8	19	上牧町	91.4
	20 ↑	東吉野村	94.3	4.4	20	大和郡山市	91.0
	21 ↓	高取町	93.5	0.8	21	安堵町	90.5
	22 ↑	田原本町	93.0	3.2	22	曾爾村	90.4
	23 ↑	野迫川村	92.3	16.1	23	東吉野村	89.9
	24 ↑	香芝市	91.8	4.1	24	田原本町	89.8
	25 ↓	安堵町	91.7	1.2	25	大淀町	89.1
	26 ↓	曾爾村	91.3	0.9	26	山添村	89.0
健 康 全国平均 未満	27 ↓	大淀町	91.0	1.9	27	三郷町	87.9
	28 ↑	三宅町	90.6	3.1	28	香芝市	87.7
	29 →	御杖村	89.6	2.0	29	御杖村	87.6
	29 ↑	天川村	89.6	7.1	30	三宅町	87.5
	31 ↑	葛城市	88.4	2.7	31	生駒市	85.8
	32 ↓	山添村	87.6	▲ 1.4	32	葛城市	85.7
	33 →	川西町	87.4	4.1	33	川西町	83.3
	34 ↓	三郷町	87.2	▲ 0.7	34	天川村	82.5
	35 ↑	十津川村	86.8	9.9	35	下北山村	78.4
	36 ↓	生駒市	86.2	0.4	36	川上村	77.3
	37 ↓	川上村	85.3	8.0	37	十津川村	76.9
	38 ↑	上北山村	84.2	13.9	38	野迫川村	76.2
	39 ↓	下北山村	83.3	4.9	39	上北山村	70.3
		県平均	96.0	2.7		県平均	93.3
		全国平均	91.3	1.1		全国平均	90.2

(注) 経常収支比率の平均は加重平均で算出。なお、全国平均には特別区は含まれていません。

県内各市町村の市町村税徴収率

別紙3

(単位：%)

平成22年度 [全国：31位]		平成23年度 [全国：30位]		平成24年度 [全国：28位]		平成25年度 [全国：31位]		平成26年度 [全国：-位]	
下北山村	99.1	下北山村	98.8	王寺町	98.5	王寺町	98.8	三宅町	99.1
上北山村	98.7	山添村	98.4	下北山村	98.4	三宅町	98.6	王寺町	98.9
明日香村	98.2	王寺町	98.4	山添村	98.2	山添村	98.1	下北山村	98.3
王寺町	98.1	上北山村	98.3	上北山村	98.1	下北山村	98.1	上北山村	98.1
山添村	97.8	明日香村	97.8	三宅町	98.0	上北山村	98.1	山添村	98.0
川上村	96.5	黒滝村	96.8	黒滝村	97.5	黒滝村	97.9	黒滝村	97.9
黒滝村	96.3	三宅町	96.5	明日香村	97.3	平群町	97.4	平群町	97.7
野迫川村	95.9	川上村	96.1	平群町	96.8	明日香村	97.1	明日香村	97.6
十津川村	95.6	斑鳩町	95.5	川西町	96.0	桜井市	96.8	桜井市	97.5
斑鳩町	95.5	川西町	95.3	川上村	95.8	川西町	96.2	広陵町	96.8
川西町	94.9	河合町	95.2	斑鳩町	95.6	広陵町	96.2	川西町	96.6
三宅町	94.3	十津川村	95.0	桜井市	95.5	東吉野村	96.2	東吉野村	96.3
河合町	94.3	広陵町	94.6	河合町	95.3	斑鳩町	96.0	斑鳩町	96.1
高取町	94.2	高取町	94.2	広陵町	95.2	川上村	95.8	吉野町	95.5
広陵町	93.7	桜井市	94.0	東吉野村	94.9	河合町	95.4	川上村	95.5
全国平均	93.3	全国平均	93.7	十津川村	94.2	高取町	95.0	田原本町	95.3
御杖村	93.1	吉野町	93.6	全国平均	94.2	吉野町	94.9	河合町	95.3
天川村	93.0	東吉野村	93.6	高取町	94.1	全国平均	94.9	香芝市	94.9
橿原市	92.9	野迫川村	93.4	吉野町	94.0	御杖村	94.7	御杖村	94.8
葛城市	92.9	大和郡山市	93.3	大和郡山市	93.2	十津川村	94.5	五條市	94.7
大和郡山市	92.7	葛城市	93.2	橿原市	93.2	五條市	94.1	高取町	94.4
吉野町	92.7	橿原市	93.0	葛城市	93.2	田原本町	94.1	十津川村	94.4
桜井市	92.0	香芝市	92.7	御杖村	93.2	天川村	94.0	曾爾村	94.3
香芝市	92.0	御杖村	92.5	香芝市	93.1	橿原市	93.7	橿原市	94.2
県平均	91.5	五條市	92.3	田原本町	93.1	香芝市	93.7	天川村	94.2
東吉野村	91.2	天川村	92.3	五條市	92.9	大和郡山市	93.4	県平均	94.0
三郷町	91.1	県平均	92.1	曾爾村	92.9	葛城市	93.3	大和郡山市	93.7
五條市	91.0	田原本町	92.1	県平均	92.8	県平均	93.3	葛城市	93.7
安堵町	91.0	曾爾村	92.0	御所市	92.6	曾爾村	93.2	下市町	93.6
奈良市	90.9	御所市	91.6	奈良市	92.2	御所市	92.8	安堵町	93.4
天理市	90.8	天理市	91.4	野迫川村	92.2	奈良市	92.7	奈良市	93.3
大淀町	90.8	奈良市	91.3	大淀町	92.0	大淀町	92.6	大淀町	93.2
上牧町	90.7	大和高田市	91.2	天川村	91.9	天理市	92.1	大和高田市	93.1
御所市	90.5	大淀町	91.0	天理市	91.8	大和高田市	91.9	天理市	92.9
田原本町	90.2	上牧町	90.9	安堵町	91.5	生駒市	91.9	生駒市	92.8
下市町	90.2	生駒市	90.7	上牧町	91.5	野迫川村	91.9	御所市	92.7
生駒市	90.1	安堵町	90.6	大和高田市	91.4	宇陀市	91.8	宇陀市	92.7
大和高田市	89.9	三郷町	90.4	生駒市	91.4	安堵町	91.5	上牧町	91.8
曾爾村	89.6	宇陀市	90.2	宇陀市	91.1	下市町	90.9	野迫川村	91.7
宇陀市	88.6	下市町	89.5	三郷町	90.1	上牧町	90.8	三郷町	90.0
平群町	85.6	平群町	86.0	下市町	88.8	三郷町	89.7	全国平均	-

※平成26年度の市町村税徴収率(全国)平均は、平成28年3月に総務省より発表される予定

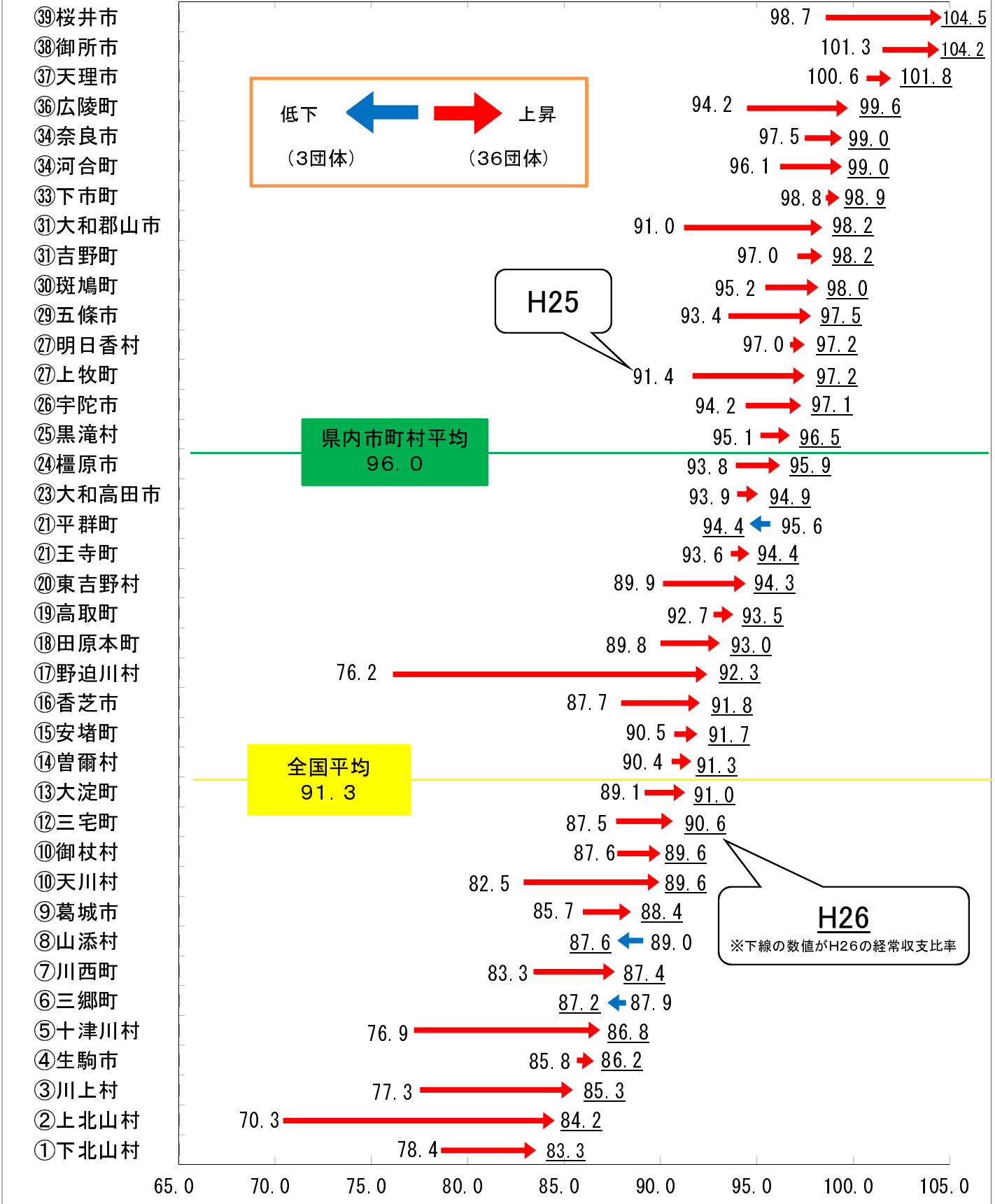
県内各市町村の経常収支比率の対前年度比較

別紙4

○前年度より低下した団体数は3、上昇した団体数は36。
 ○普通交付税などの経常一般財源等の減や経常的経費充当一般財源等の増により、前年度と比較して上昇した団体が多く、特に普通交付税の減が大きかった野迫川村や上北山村などの上昇ポイントが大きい。



※○内の数字は、県内順位



県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳及び対前年度増減

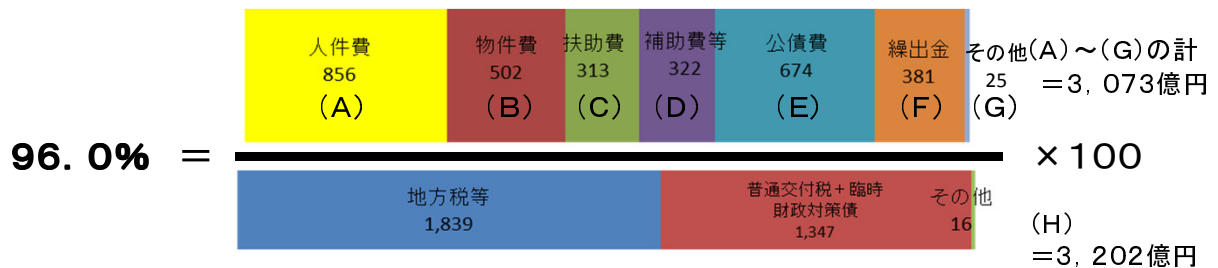
別紙5-1

経常収支比率とは、地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費に充当されたものが占める割合のことで、下記により算出。

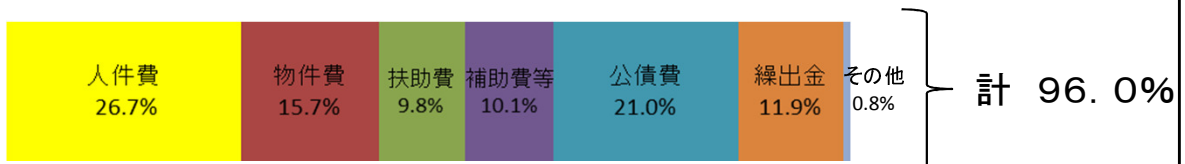
$$\text{経常収支比率} = \frac{\text{人件費、扶助費、公債費等に充当した一般財源}}{\text{経常一般財源(地方税+普通交付税等) + 減税補てん債+臨時財政対策債}} \times 100$$

平成26年度の経常収支比率(県内市町村平均)は以下のとおり算出。

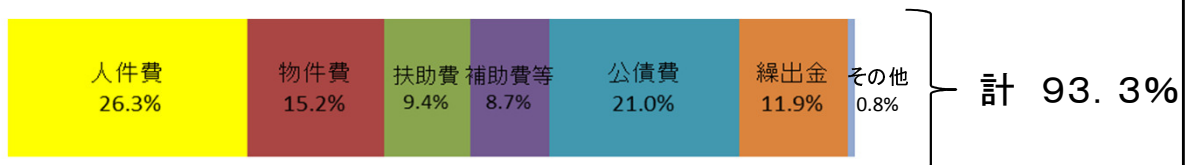
(単位:億円)



平成26年度の経常収支比率(市町村平均)は96.0%で、上記(A)~(G)それぞれを(H)で割ると、それぞれの性質毎の経費にかかる経常収支比率が算出。



一方、平成25年度決算では、以下のとおり。

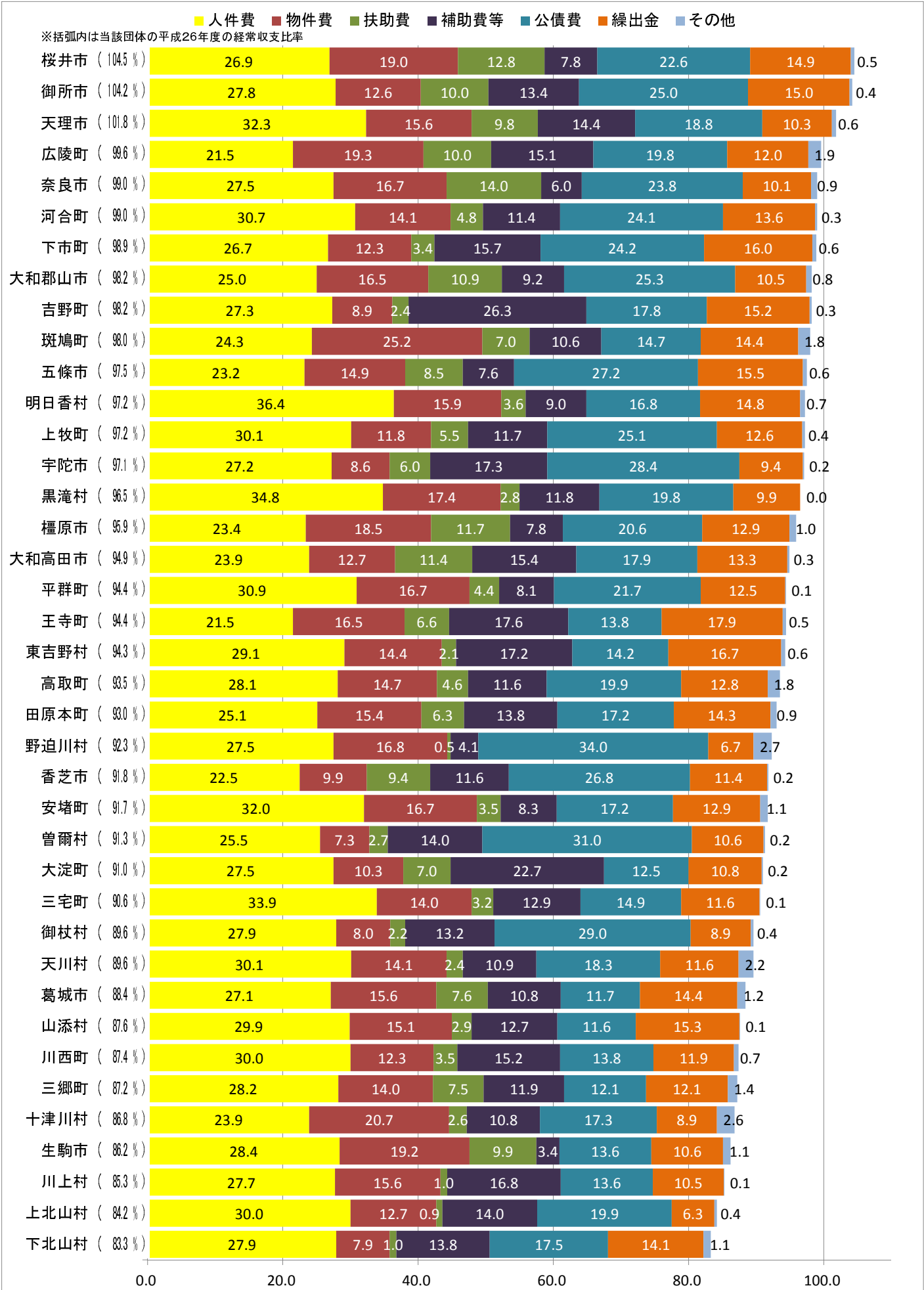


平成25年度と比較すると、平成26年度の上昇要因として物件費や補助費等の影響が大きい。

県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳は別紙5-2、対前年度増減は別紙5-4 のとおり。

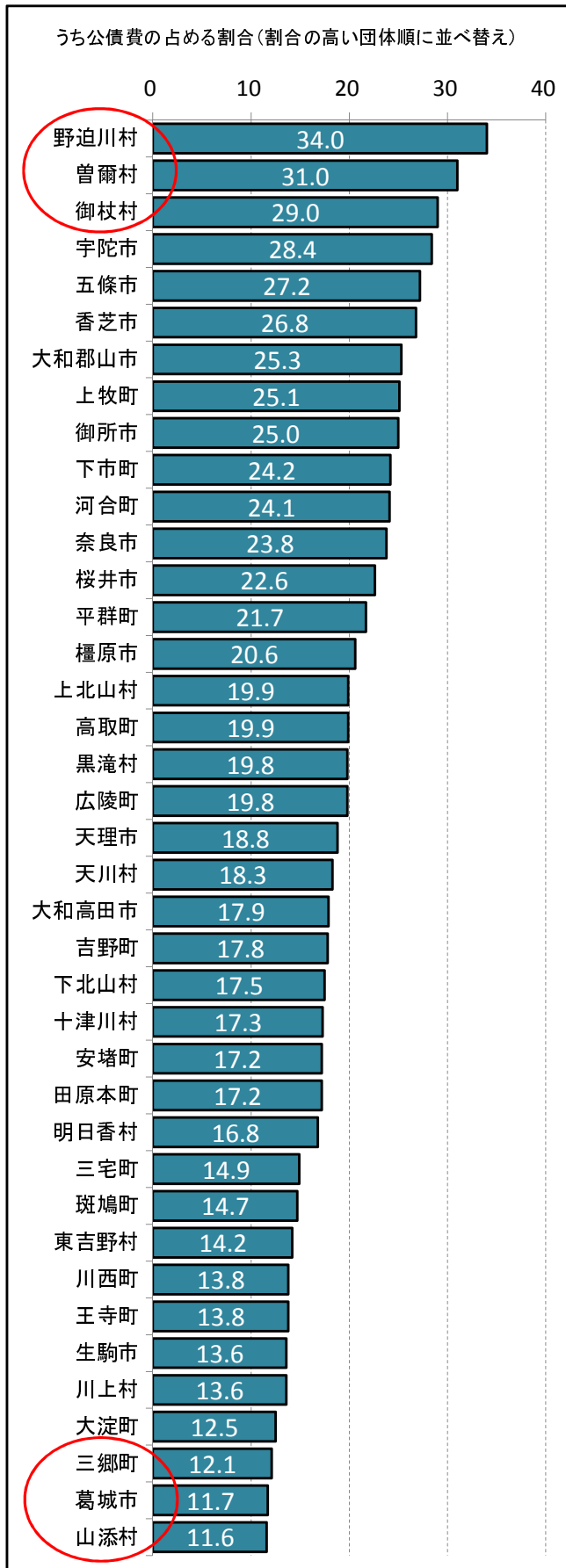
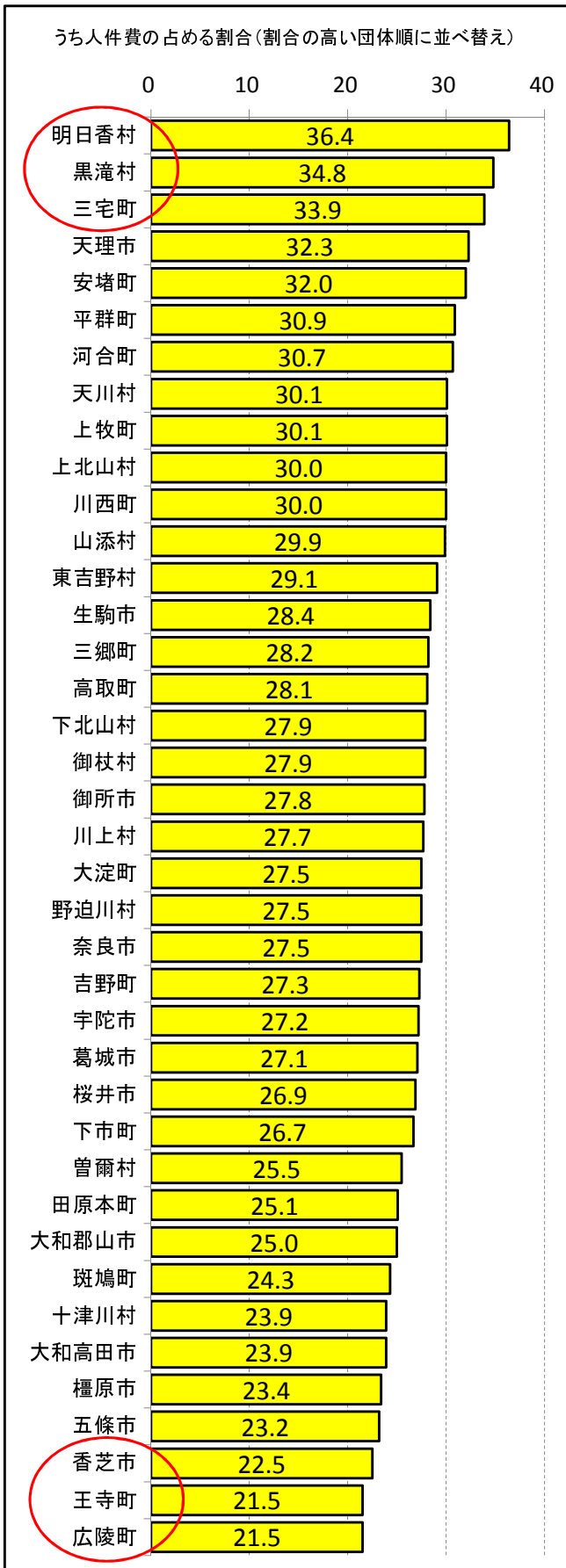
県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳

別紙 5-2



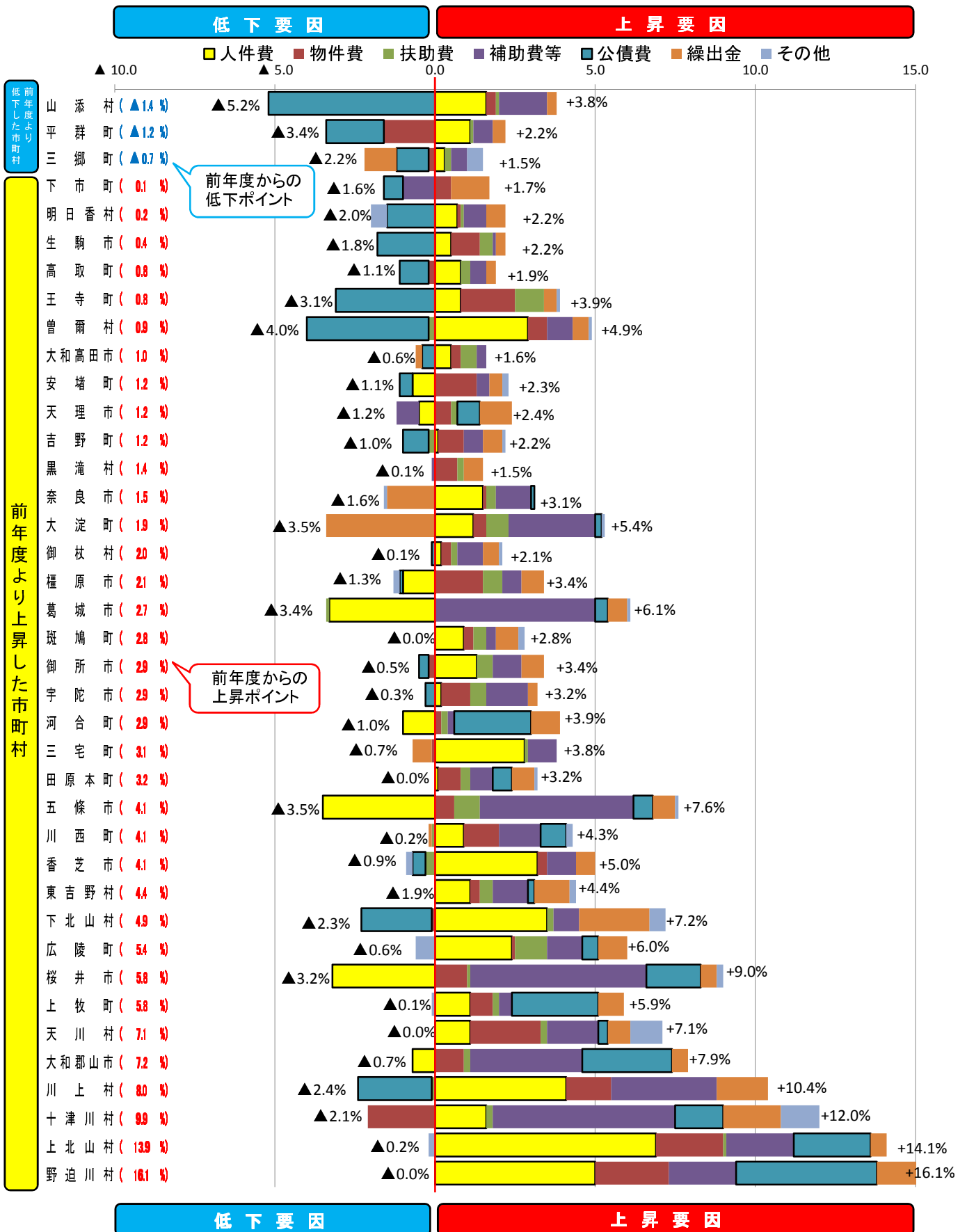
県内各市町村の経常収支比率の性質別内訳(うち人件費、公債費の占める割合)

○平成26年度の経常収支比率に占める人件費の割合が高い団体は、明日香村、黒滝村、三宅町などで、低い団体は広陵町、王寺町、香芝市など。
 ○平成26年度の経常収支比率に占める公債費の割合が高い団体は、野迫川村、曾爾村、御杖村などで、低い団体は山添村、葛城市、三郷町など。

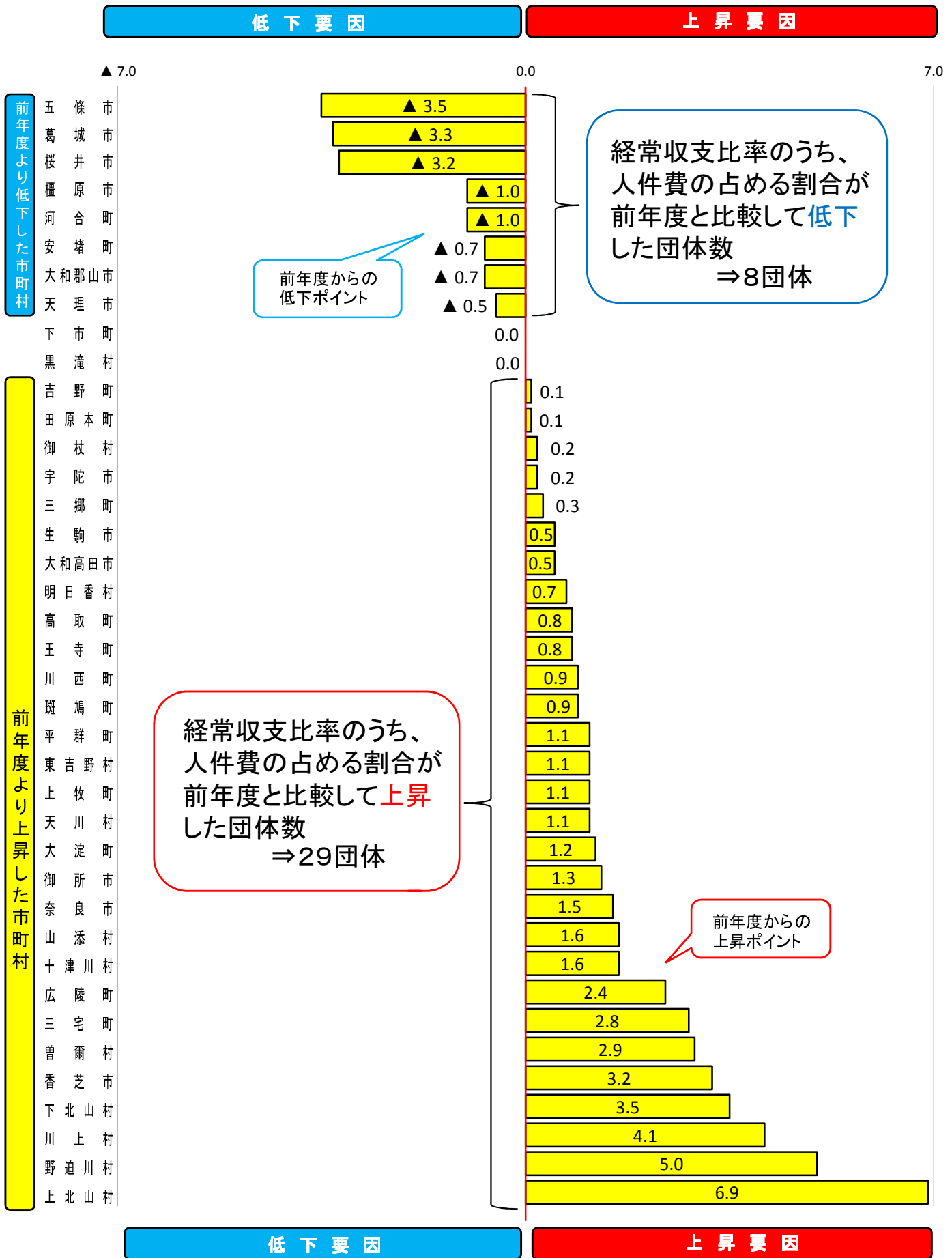


県内各市町村の経常収支比率の性質別対前年度増減

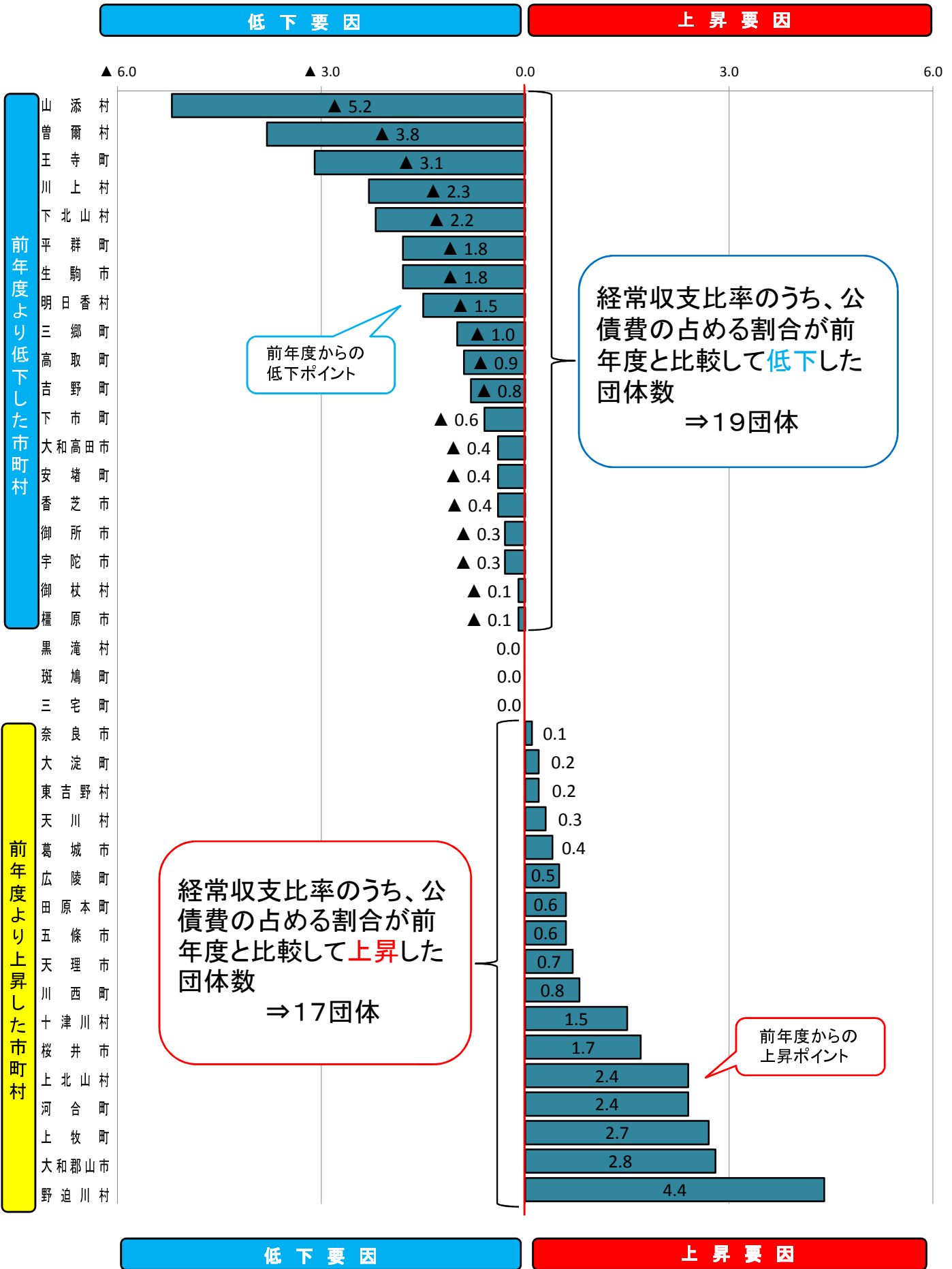
○経常収支比率が低下した市町村では、公債費の比率が前年度より低下傾向。
 ○経常収支比率が上昇した市町村では、人件費や補助費等の比率が上昇している団体が多い。



県内各市町村の経常収支比率のうち人件費にかかる対前年度増減ポイント

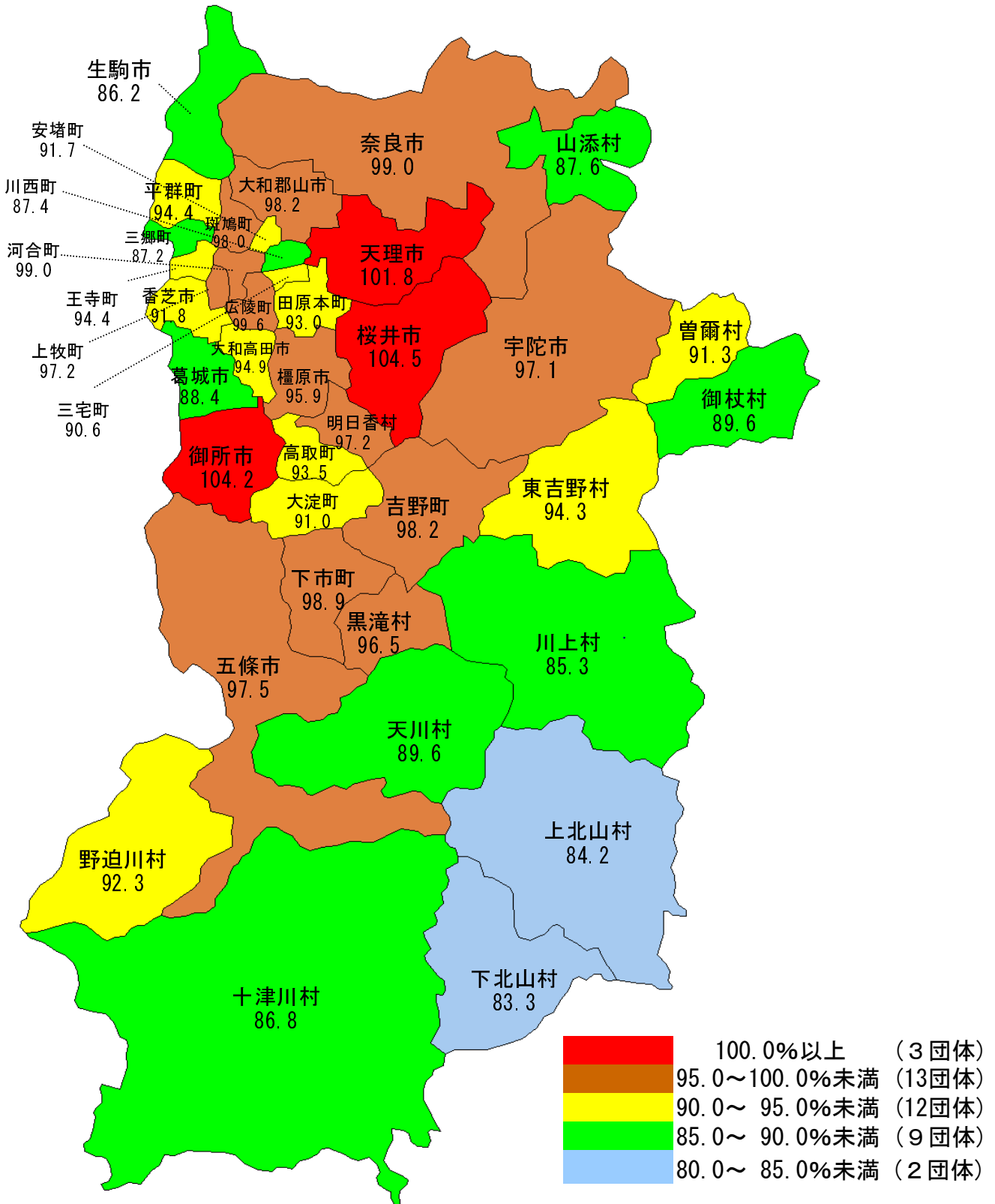


県内各市町村の経常収支比率のうち公債費にかかる対前年度増減ポイント



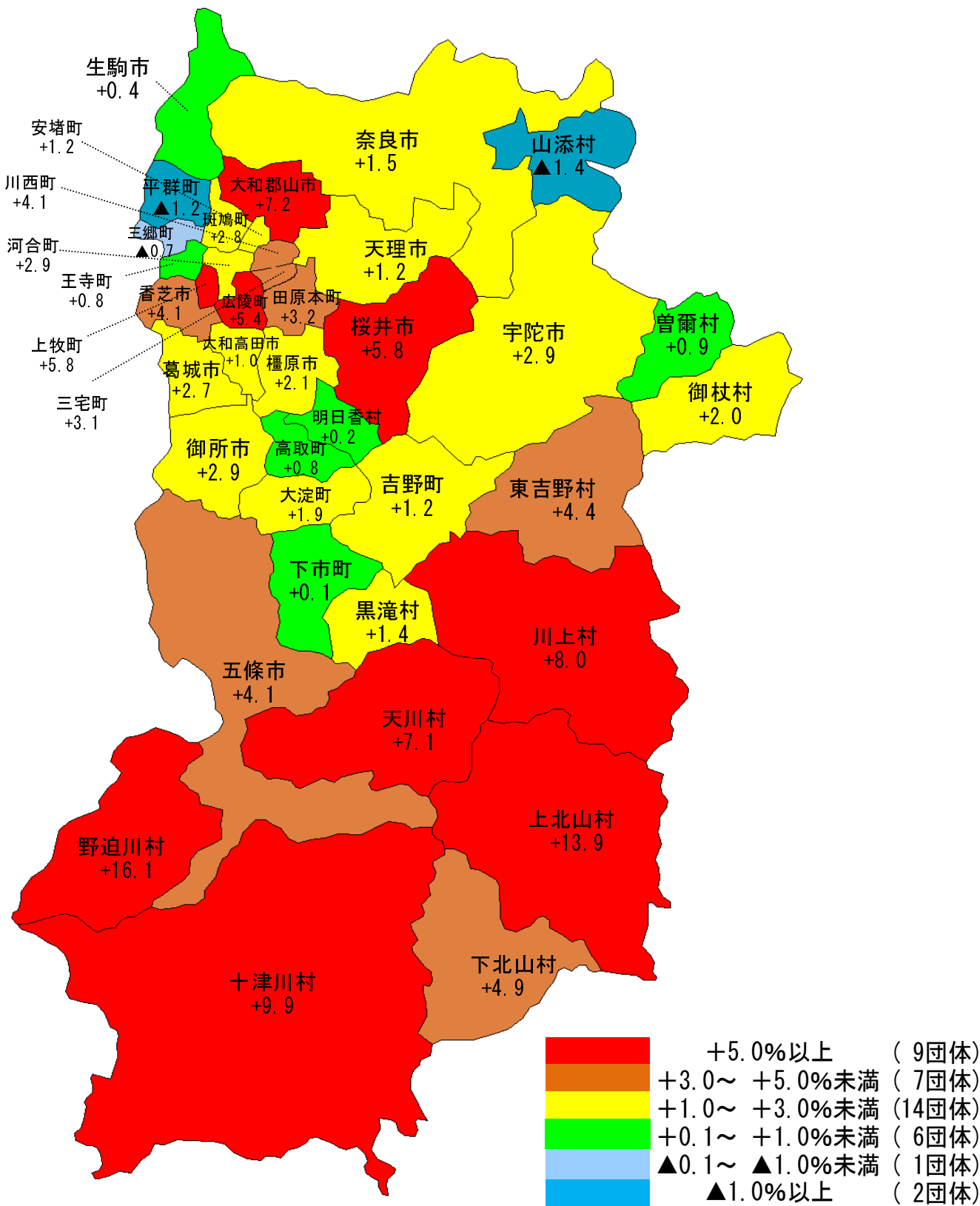
県内各市町村の経常収支比率の分布状況

○経常収支比率100%以上の団体は前年度より1団体増加し、桜井市、御所市、天理市の3団体。
 ○一方、経常収支比率85%未満の団体は前年度より5団体減少し、下北山村、上北山村の2団体。



県内各市町村の経常収支比率の分布状況（前年度比較）

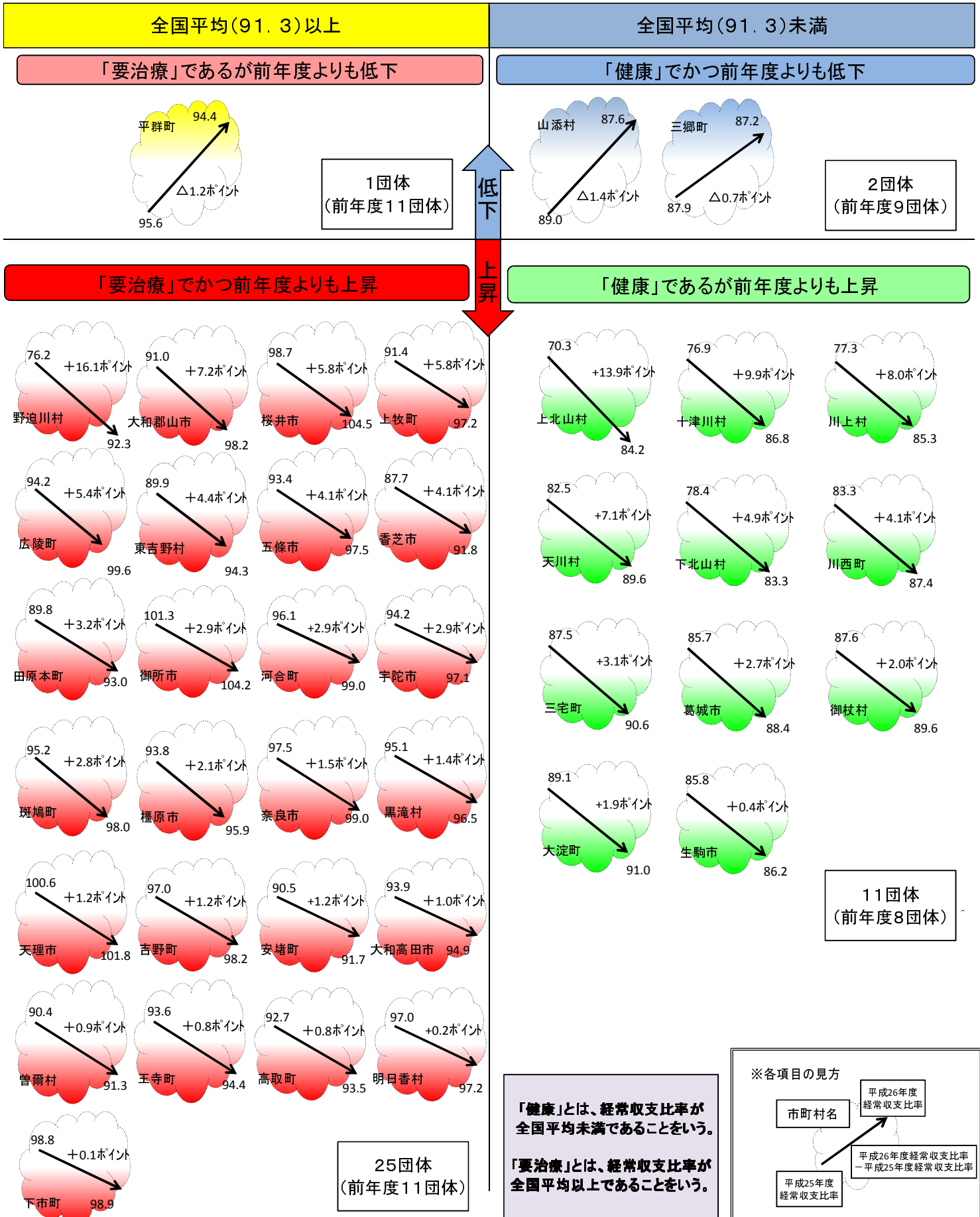
○普通交付税の減等により、特に県南部地域の市町村で大きく上昇。



県内各市町村の経常収支比率の健康診断表 (全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分)

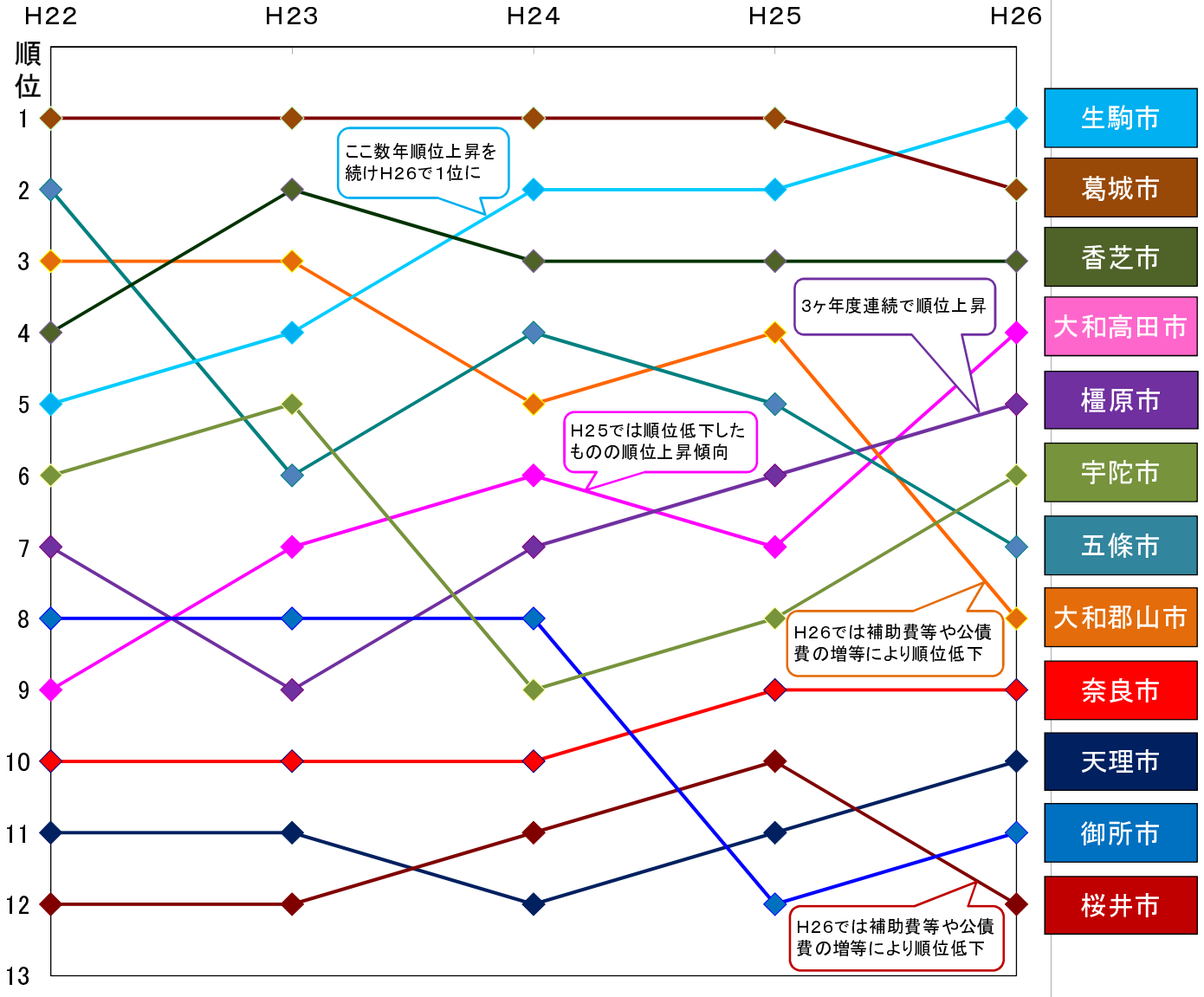
別紙7

○県内各市町村の経常収支比率を全国平均を目安に「健康」と「要治療」に区分し整理。
 ○「要治療」領域に属する26団体のうち、平群町のみが前年度よりも低下し、野迫川村など25団体が前年度よりも上昇。
 「健康」領域に属する13団体のうち、山添村と三郷町が前年度よりも低下し、上北山村など11団体が上昇。



県内12市の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

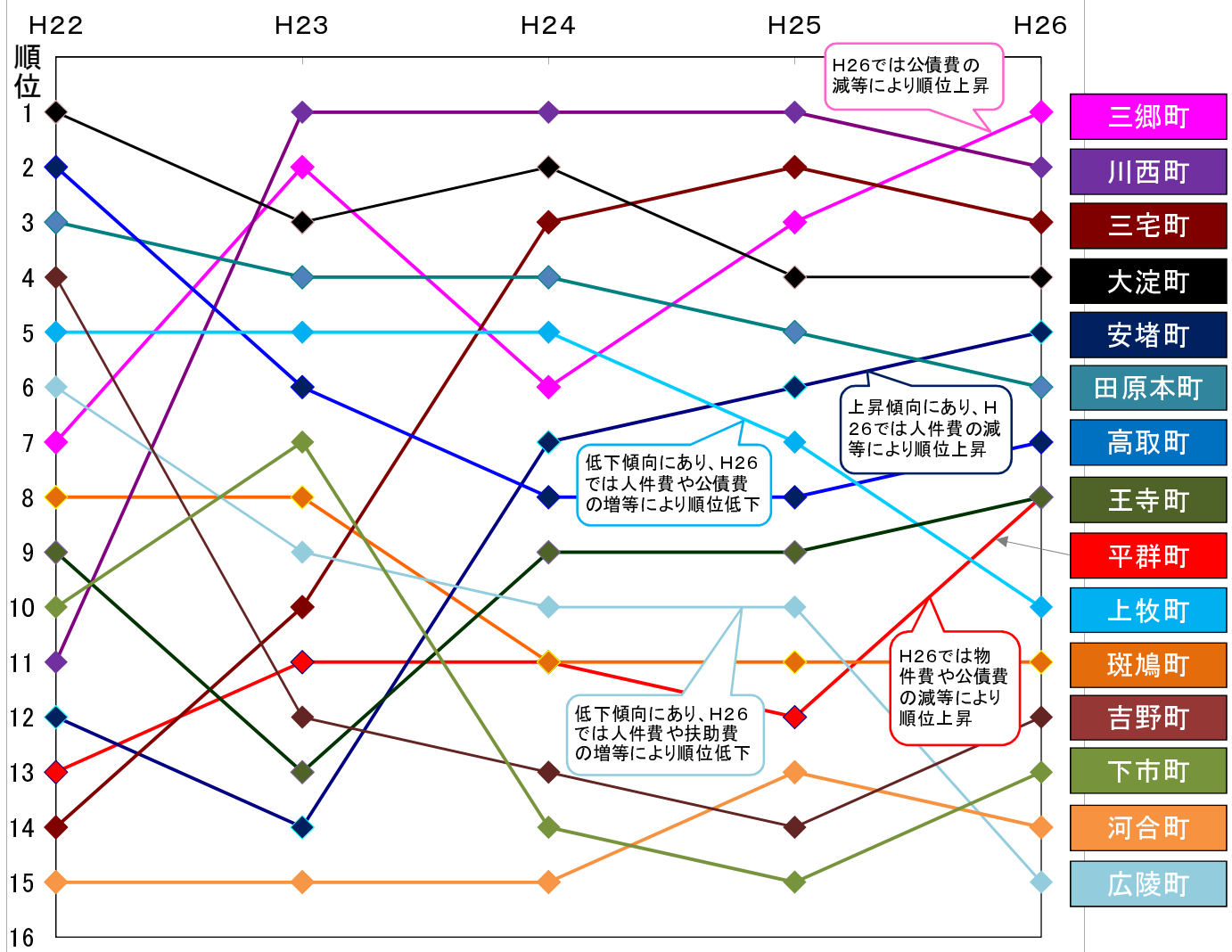
○平成26年度では公債費の減等により生駒市が1位となった。
 ○大和郡山市は補助費等や公債費の増等により大きく順位低下。



団体名	H22	順位	H23	順位	H24	順位	H25	順位	H26	順位
奈良市	95.8	10	98.9	10	97.6	10	97.5	9	99.0	9
大和高田市	95.2	9	95.1	7	94.8	6	93.9	7	94.9	4
大和郡山市	88.0	3	91.0	3	92.1	5	91.0	4	98.2	8
天理市	96.6	11	99.6	11	100.5	12	100.6	11	101.8	10
橿原市	94.3	7	96.1	9	95.5	7	93.8	6	95.9	5
桜井市	97.8	12	99.7	12	98.8	11	98.7	10	104.5	12
五條市	86.3	2	93.2	6	91.7	4	93.4	5	97.5	7
御所市	94.4	8	95.3	8	96.0	8	101.3	12	104.2	11
生駒市	90.2	5	92.4	4	89.2	2	85.8	2	86.2	1
香芝市	89.4	4	89.0	2	89.7	3	87.7	3	91.8	3
葛城市	82.6	1	82.2	1	86.1	1	85.7	1	88.4	2
宇陀市	94.2	6	92.8	5	96.5	9	94.2	8	97.1	6

県内15町の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

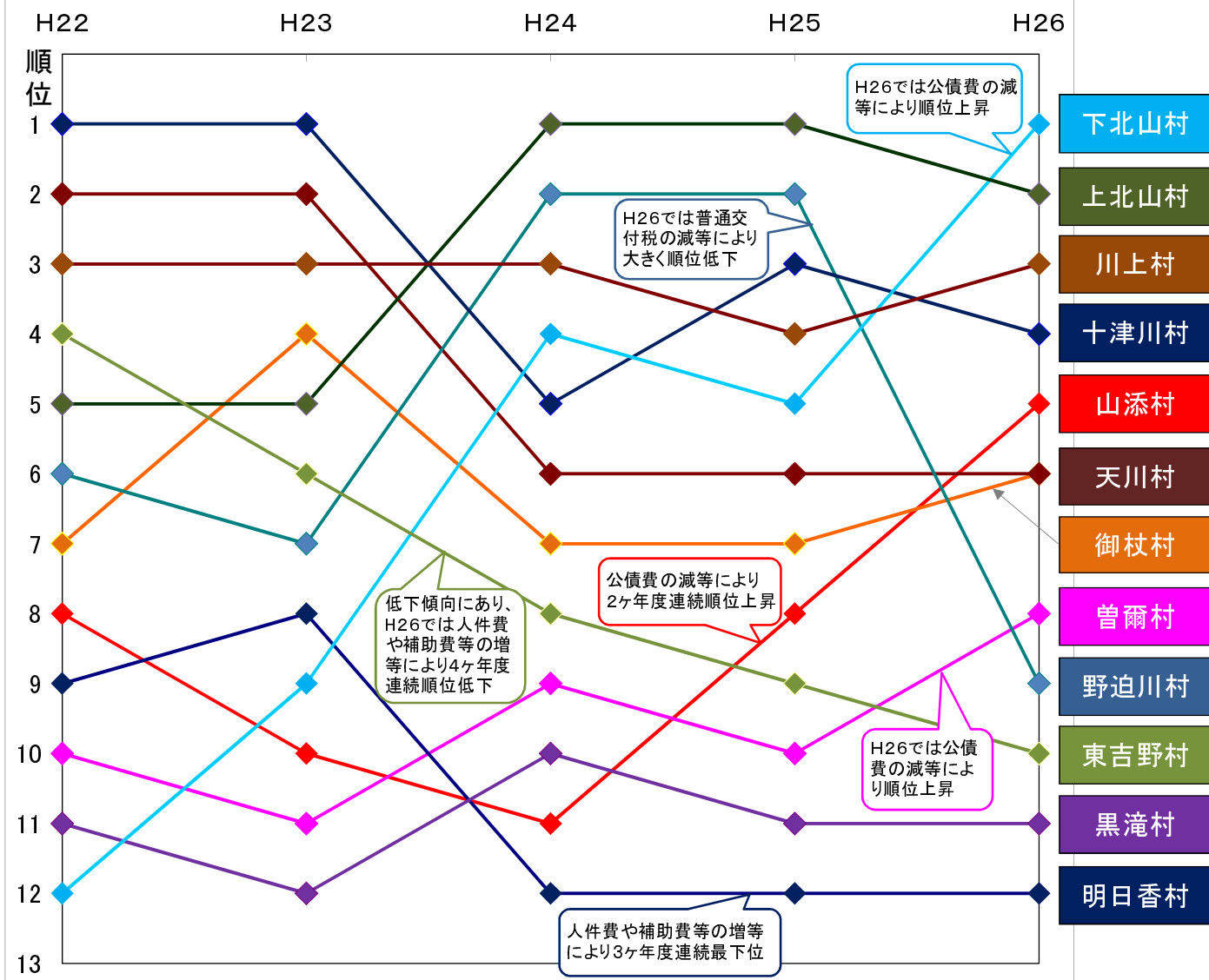
○平成26年度では公債費の減等により三郷町が1位となった。
 ○上牧町は公債費の増等により、広陵町は人件費や公債費の増等により大きく順位低下。



団体名	H22	順位	H23	順位	H24	順位	H25	順位	H26	順位
平群町	92.9	13	93.5	11	95.3	11	95.6	12	94.4	8
三郷町	90.9	7	87.3	2	91.0	6	87.9	3	87.2	1
斑鳩町	91.3	8	92.3	8	95.3	11	95.2	11	98.0	11
安堵町	92.8	12	94.7	14	91.3	7	90.5	6	91.7	5
川西町	92.1	11	86.9	1	81.4	1	83.3	1	87.4	2
三宅町	94.4	14	93.1	10	88.6	3	87.5	2	90.6	3
田原本町	87.9	3	88.6	4	89.5	4	89.8	5	93.0	6
高取町	86.3	2	89.6	6	92.1	8	92.7	8	93.5	7
上牧町	89.4	5	88.9	5	89.9	5	91.4	7	97.2	10
王寺町	91.5	9	94.4	13	92.9	9	93.6	9	94.4	8
広陵町	90.3	6	93.1	9	93.1	10	94.2	10	99.6	15
河合町	95.1	15	96.8	15	98.7	15	96.1	13	99.0	14
吉野町	88.8	4	93.8	12	95.5	13	97.0	14	98.2	12
大淀町	83.8	1	87.9	3	87.2	2	89.1	4	91.0	4
下市町	91.7	10	91.6	7	96.6	14	98.8	15	98.9	13

県内12村の経常収支比率順位の推移(過去5ヶ年度分)

○平成26年度では公債費の減等により下北山村が大きく順位を上げ1位となった。
 ○野迫川村は普通交付税の減等により大きく順位低下。東吉野村は4ヶ年度連続順位低下。



団体名	H22	順位	H23	順位	H24	順位	H25	順位	H26	順位
山 添 村	89.9	8	92.5	10	96.2	11	89.0	8	87.6	5
曾 爾 村	92.0	10	93.6	11	92.2	9	90.4	10	91.3	8
御 杖 村	88.2	7	87.7	4	86.0	7	87.6	7	89.6	6
明日香村	91.3	9	90.6	8	98.5	12	97.0	12	97.2	12
黒 滝 村	92.4	11	99.3	12	93.3	10	95.1	11	96.5	11
天 川 村	84.9	2	84.9	2	81.9	6	82.5	6	89.6	6
野迫川村	87.5	6	89.4	7	68.8	2	76.2	2	92.3	9
十津川村	79.4	1	78.7	1	81.0	5	76.9	3	86.8	4
下北山村	94.0	12	91.7	9	80.4	4	78.4	5	83.3	1
上北山村	87.0	5	88.5	5	67.8	1	70.3	1	84.2	2
川 上 村	85.0	3	86.8	3	78.7	3	77.3	4	85.3	3
東吉野村	86.4	4	88.8	6	89.7	8	89.9	9	94.3	10